

日本共産党の竹田えつ子です こんにちはニュース 議会報告

No.213 2023年2月3週



くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。

2023「新春のひびく」で決意を表明

2月12日(日) 日本共産党鴻巣市委員会・後援会の共催で「統一地方選挙勝利、2023 新春のつどい」をクリアこのすで開催しました。竹田えつ子・

すわみつえ両市議が市議選予定候補として決意表明を行いました。伊藤岳参議院議員が、国政報告を行いました。

活動にミサイルや戦闘機は役にたっているでしょうかと批判、地震大国といわれる日本で「軍事費増やすよ、くらしを守れ」と声を上げましょと訴えました。

て、オスプレイや戦闘機、敵基地攻撃能力ミサイルの購入の為に軍事費を増やしているが、自然災害の救援

トルコ・シリア大震災救援募金の訴えも行い、会場で1万5926円の募金が寄せられました。

自然災害の救援活動にミサイルや戦闘機は役にたつのか？
軍事費増やすより、くらし守れ

竹田えつ子は、岸田首相は、「国民を守る」と言っ



伊藤岳参議院議員を真ん中に

竹田えつ子の政治信条は、市民の困ったに寄り添い、粘り強く声を届け実現の為に頑張る事

新年度予算で補聴器購入補助、鴻巣駅東口にエレベーター設置基本設計費が計上

市民の困ったに寄り添い、粘り強く声を届け実現の為に頑張るのが、竹田えつ子の政治信条であり、24

認知症などになっても、誰もが自分らしく生きていたいと願っています。多様性を尊重しながら支援する態勢づくり、学校給食費の無償化、医療や介護の負担軽減等実現の為に、これからも頑張っていきたいと決意を述べました。

敵基地攻撃能力の本質は米国の協力、先制攻撃

伊藤岳参議院議員は、4人も閣僚が辞任に追い込まれる岸田政権の異常さを報告。

さらに5年間で43兆の軍事費や「安保3法」を閣議決定だけを決めた事も異常であると話しました。そして「敵基地攻撃能力」について触れ、米国の協力の強化(融合)であり危険な先制攻撃である事について話しました。

参加者からは、伊藤岳さんのはなしを聞き、本当に危険な岸田政権であり、平和を守る為に頑張りたいと感想が寄せられました。

様々な生き方を支援する態勢づくりを

発達障がい、引きこもり、



3月議会は2月20日から開会

皆さんのご意見・ご要望お寄せください

鴻巣市議会3月定例会は、2月20日(月)から3月20日(月)までの会期で開かれます。

並木新市長の施政方針・及び予算(案)の大纲に対する代表質問は、竹田えつ子が行う予定です。また、新年度予算案をはじめ全部

で38件の議案を審議します。一般質問は、今期議員の最後の質問になります。市民の皆さんの声をしっかりと届け、市政のチャック役として頑張っていきたいと思います。皆さんのご意見・ご要望をお気軽にお寄せください。

3月定例会の日程

- 2月20日(月) 本会議 議案上程
27日(月) 本会議・代表質問・議案質疑
28日(火) 本会議 議案質疑
3月2日(木)・3日(金) 文教福祉・まちづくり常任委員会
6日(月)・7日(火) 政策総務常任委員会・市民環境常任委員会
9日(木)・10日(金)・14日(火)・16日(木) 一般質問
20日(月) 本会議 採決

松竹伸幸氏の問題について

「異論を持ったから除名」ではない

日本共産党の小池晃書記局長は2月6日、国会内で記者会見し、党京都南地区委員会常任委員会と党京都府委員会常任委員会が同日までに、松竹伸幸氏の除名処分を決定したことをめぐり、「……日本共産党の小池晃書記局長は2月6日、国会内で記者会見し、党京都南地区委員会常任委員会と党京都府委員会常任委員会が同日までに、松竹伸幸氏の除名処分を決定したことをめぐり、「……

「結社の自由」も重要な基本的人権

2月9日の記者会見志位委員長発言より

私たちは、憲法21条が保障している「言論の自由」「出版の自由」「表現の自由」などを全面的に擁護してまいります。ただ、「結社の自由」も重要な基本的人権なんだというのを、ぜひご理解いただきたいし、それに基づいて対応なんだということを理解いただければと思います。松竹氏は、

私らは、憲法21条が保障している「言論の自由」「出版の自由」「表現の自由」などを全面的に擁護してまいります。ただ、「結社の自由」も重要な基本的人権なんだというのを、ぜひご理解いただきたいし、それに基づいて対応なんだということを理解いただければと思います。松竹氏は、

自らの自由な意思で、わが党の綱領および規約を認めて入党しました。そのうえ、以上、かりに意見があれば、党規約というルールに基づいて、それを表明すべきでした。そういう権利は党規約に保障されており、それを一切せずに、党の外から攻撃するということは、これは党規約に違反

述べることができ、異論があれば保留する権利もあるということをはっきりさせています。今回の対応は異論を持ったからやっつたものではありません。そういう権利を行使することなく、突然、党規約および党綱領に対する攻撃を行ったことに対する処分です」と重ねて説明しました。

……

する。松竹氏が、自らの自由な意思で党に加入した以上、異論があったら、そういう正式なやり方で表明したらよかったです。しかし一度もそれをやらなかった。党から脱退する自由もあるんです。しかし、そうではなくて、党員でありながら、ルールを破ったわけですから、これは私たちがとしては、当然、「政党の存立及び組織の秩序維持」のために一定の対処をするのは、これは当たり前のことになります。